

第4学年 体育科学習指導案

日 時 平成 25 年〇月〇日 (〇) 〇校時
 対 象 第4学年 〇組 〇〇名
 学校名 〇〇立〇〇小学校
 授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 体づくり運動「多様な動きをつくる運動」

2 単元の目標

- (1) 体のバランスをとったり移動したりする動きや、用具を操作したり力試ししたりする動きなどができるようにするとともに、それらを組み合わせることができるようにする。
- (2) 運動に進んで取り組み、決まりを守り仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- (3) 運動の行い方を工夫している。

3 単元及び学習活動に即した評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	・運動の行い方を知るとともに友達のよい動きを見付け、自分の運動に取り入れようとする。	・運動に進んで取り組むとともに、決まりを守り、仲よく運動をしようとしたり、運動をする場や用具の安全を確かめようとしたりしている。	・体のバランスや移動、用具の操作、力試しの動きとともに、それらを組み合わせた動きができる。
学習活動に即した具体的な評価規準	①運動に進んで取り組もうとする。 ②用具の使い方や運動の行い方の決まりを守ろうとしている。 ③友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ④運動する場や用具の安全を確かめようとしている。	①運動の行い方を知ることができる。 ②運動をする場や使用する用具などを変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。 ③友達のよい動きを見付け、自分の運動に取り入れている。	①体のバランスをとる動きができる。 ②体を移動する動きができる。 ③用具を操作する運動ができる。 ④力試しの運動ができる。 ⑤基本的な動きを組み合わせる動きができる。

※体づくり運動領域は、他の「運動に関する領域」のように特定の技能を系統的に向上させることがねらいではないため、「技能」ではなく、「運動」として示されている。

4 第4学年の単元計画（指導と評価の計画）※体ほぐしの運動を含めて計画を示してある。

時間	1 学期						2 学期		
	1	2	3	4	5	6	7	8	
運動のねらい	心と体の変化に気付いたり、体の調子を整えたり、みんなでかかわり合ったりするための手軽な運動や律動的な運動をすることができる。		体のバランスや移動、用具の操作などとともに、それらを組み合わせることができる。						
学習内容・活動	○体ほぐしの運動		○多様な動きをつくる運動						
	●一人でできる律動的な運動 ・いろいろウォーキング		●体のバランスをとる運動 【渡る】 ・おすすめの動きに取り組む (平均台を渡る) ・遠く遠く ・障害物		●用具を操作する運動 【用具を跳ぶ】長なわ ・おすすめの動きに取り組む (8の字跳び) ・かるた ・入り方抜け		●用具を操作する運動 【用具に乗る】Gボール ・おすすめの動きに取り組む (足でGボールを軽くはさんで乗る) ・バウンド ・転がり方		
	●2、3人でできる手軽な運動 ・ネコとネズミ ・Gボールでバランスとり ・バランスくずし		●用具を操作する運動 【用具に乗る】一輪車 ・おすすめの動きに取り組む (補助付きで乗る)		●用具を操作する運動 【用具に乗る】竹馬 ・おすすめの動きに取り組む (補助付きで乗る)		●基本的な動きを組み合わせる運動 【用具+移動】 ボール:投げる・捕る ・おすすめの動きに取り組む(ボールを投げ上げて移動して捕る)		
	●グループでできる手軽な運動 ・Gボールリレー ・人間いかだリレー								
	●全員でできる手軽な運動 ・Gボールに乗りながらをつなぐ ・ヒューマンチェア		動きを知る	動きを選択	動きを知る	動きを選択	動きを知る	動きを選択	
	教師の働きかけ	○運動することの楽しさや心地よさを大切にしながら、運動のねらいにあった言葉掛けをし、児童が工夫できるようにする。		○おすすめの動きができなかったときは、どうすればできるようになるのか、できたときは、どのような工夫ができるか、を考えさせる。 ○自分が行いたい動きを選ぶ。				○おすすめの動きができなかったときは、どうすればできるようになるのか、できたときは、どのような工夫ができるかを考えさせる。 ○友達のよい動きを見付け、取り入れさせる。	
	指導する内容	体ほぐしの運動には、気付きー調整ー関わり合いのねらいがあることを知り、ねらいに応じた手軽な運動や律動的な運動を行うこと。		体の基本的な動きを総合的に身に付けるとともに、それらを組み合わせた動きを身に付けるための運動を工夫して行うこと。				工夫したり、おすすめの動きから発展した動きに取り組んだりすること。	
学習活動に即した評価規準	運動への関心・意欲・態度	運動をする場や用具の安全を確かめようとしている。	④						
	運動についての思考・判断			①		①	②		
	運動の技能		①		③			③	

2 学期					3 学期						
9	10	11	12 (本時)	13	14	15	16	17	18		
<p>体のバランスや移動、用具の操作などとともに、それらを組み合わせることができる。</p> <p>児童が行いたい動きを選択し、進んで取り組む。</p>											
○多様な動きをつくる運動											
<p>●体を移動する運動【登る、下りる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの動きに取り組む (前向きで肋木を登り下りする) ・逆立ち歩き ・くねくね <p style="text-align: center;">↓</p> <p>●基本的な動きを組み合わせる運動【用具+移動】</p> <p>輪: 転がす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの動きに取り組む (輪を前に転がしながら歩く) <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動きを知る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動きを選択</div> </div>		<p>●力試しの運動【運ぶ、支える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの動きに取り組む (手押し車) (人運び) ・すべり台 ・おみこし <p style="text-align: center;">↓</p> <p>●基本的な動きを組み合わせる運動【用具+移動】</p> <p>輪: 投げる・捕る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの動きに取り組む(輪を投げ上げて移動して捕る) <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動きを知る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動きを選択</div> </div>		<p>●力試しの運動【押す、引く】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの動きに取り組む (押し合いずもう)(つなひき) ・けんけんで ・片手で <p style="text-align: center;">↓</p> <p>●基本的な動きを組み合わせる運動【用具+移動】</p> <p>輪: 回す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの動きに取り組む (手や腕で輪を回しながら歩く) <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動きを知る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動きを選択</div> </div>		<p>●基本的な動きを組み合わせる運動【バランス+移動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの動きに取り組む (物をもちながら歩く) (物をかつぎながら歩く) <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・片手で棒、片手にボール ・肩に棒をかついでボールを乗せる</p>		<p>●基本的な動きを組み合わせる運動【用具+移動】</p> <p>短なわ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの動きに取り組む (短なわで跳びながら走る) <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動きを知る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">動きを選択</div> </div>		<p>●基本的な動きを組み合わせる運動【用具+移動】</p> <p>※これまで取り組んできた運動の中から選択</p> <p>①運動は児童の実態から教師が選択する。(例:長なわ)</p> <p>②動きは児童が選択する。(例:8の字跳び)</p>	
<p>○おすすめの動きができなかったときは、どうすればできるようになるのか、できたときは、どのような工夫ができるかを考えさせる。</p> <p>○友達のよい動きを見付け、まねをさせる。</p>					<p>○友達のよい動きを見付け、教え合い、まねをさせる。</p>						
工夫したり、おすすめの動きから発展した動きに取り組んだりすること。					友達のよい動きを見付けたり、おすすめの動きができるように声をかけたりすること。						
	③	①				②					
			①		②			①	②		
①		⑤		④		⑤	③				

5 本時の学習（18時間扱いの12時間目（体ほぐしの運動を含む））

(1) ねらい

【態度】運動に進んで取り組み、決まりを守り仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりしようとする。

【思考・判断】運動の行い方を知り、友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れることができる。

【技能】力試しの動きや基本的な動きを組み合わせることができる。

(2) 展開

○学習内容・活動	指導のポイント	評価
<p>1 挨拶をし、めあてを確認する。</p> <p>2 準備運動を行う。</p> <p>3 力試しの運動に取り組む。 ○「人運び」の動きに取り組む。 ・二人で一人を10m運ぶ。 (「人運び」おすすめの動き) 運ばれる人の役割を交代して行う。 ・「ドンじゃんけん」を行う。 運ばれる人の役割を交代して行う。 (「人運び」みんなでこれをやりますの動き)</p> <p>4 基本的な動きを組み合わせる運動に取り組む。 ○輪を回しながら移動する動きに取り組む。 ・前時で行った場で動きのこつを確認して取り組む。 (「輪：回すの遠く遠くコーナー」) ・場の設定を変え、「ジグザグコース」に取り組む。 (「輪：回すのいろいろコースコーナー」) ・よい動きの友達を見付けて発表する。 よい動きを見る。 よい動きをまねして取り組む。(自分の動きに取り入れる。)</p> <p>・動きを工夫して取り組む。</p>	<p>・学習の流れを掲示で示しておく。</p> <p>・3人組をつくり、動きの取り組み方を伝える。 ・肩と太ももをしっかりと抱える(運ぶ人)、おなかに力を入れる(運ばれる人)、途中で交代するなど、安全への指示を徹底する。 ・歩いて行うことを指示する。</p> <p>・輪を回しながら移動する動きのこつを掲示板で確認する。</p> <p>・みんなで確認したこつを意識して取り組んだり、新たなこつを見付けたりすることをおさえる。 ・よい動き(なめらかに輪を回しながら移動している)のまねをすることを促す。</p> <p>・動きができるために友達と教え合ってもよいことを伝える。 ・工夫の視点(姿勢の工夫と</p>	<p>・運動の行い方を知り、取り組んでいる。 【思考・判断】(観察)</p>

<p>工夫の視点に合わせて、自分で考えた動きに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が考えた工夫を発表する。 全員でその動きに取り組む。 ・よい動きの友達を見付けて発表する。 よい動きを見る。 <p>・グループで協力して動きに取り組む。 (「輪・回す」最後にみんなでこれをやります)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できたグループの動きを見る。 <p>5 整理運動をする。</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>7 あいさつ、片付けをする。</p>	<p>移動の工夫)を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までのこつも活用できることを伝え、意識しながら取り組ませる。 ・動きの工夫の視点がしっかりできている児童を褒め、動きの工夫ができていない児童には、友達の動きをまねしてもよいことを助言する。 ・ルールを確認し、グループ全員で取り組ませる。 ・友達と協力しているグループを褒め、活動がうまくできていないグループには助言をする。 ・使った部位をほぐし、気持ちを落ち着かせる。 ・運動に取り組んで見つけたこつ、友達の動きを見て感じたこと、自分の運動に取り入れたことなどを発表の視点にする。 ・次時の学習内容を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れている。 <p>【思考・判断】 (観察・学習カード)</p>
--	--	---